

マザーズねっとわーく



ごあいさつ

日々母親委員会の活動にご理解・ご協力いただきましてありがとうございます。また、各学校のPTAにおかれましても活発に活動していただき感謝申し上げます。

本年度は【「いのちの尊さ大切さ」～かかわる喜び つなげる笑顔～】のテーマのもと、活動を展開してまいりました。市P連母親委員会では「保護者同士のつながりが重要」と考え、各学校の母親委員代表の方々にお集まりいただき年3回の定例会では情報交換に重点を置いています。現在の子供たちの様子や悩みについて話し合い、そこで出た課題や要望の中から様々な活動に繋げてまいりました。また中学校区の小学校・中学校の母親委員会が繋がれるよう「きっかけ作り」もしております。

このお便りをご一読いただき、諸活動の情報を共有していただければ幸いです。

全国的には女性PTA会長の割合が増え、母親委員会という組織自体が必要では無くなった地域もあるとお聞きします。しかし山形では多くの学校でお父さんがPTA会長を担ってくださっています。お父さん方が積極的に子供たちの育ちに参加してくださることはとても心強いことですが、一方でお母さん方の意見や想いを発信できる場はまだ少ない状況です。

母親委員会は「子供たちの一番身近な存在である“お母さんの想い”」をもとに、お母さんだから・女性だからこそ気づく問題点・課題を広く吸い上げ、集約し、発信していく貴重な場でもあります。これからも子育てにかかわるすべての方々と「子供たちのために何ができるか」を共に考え、手をたずさえながら、子供たちの育ちのためのより良い活動に繋げてまいります。

山形市PTA連合会 母親委員長 高橋あゆみ

各学校の活動紹介

大曽根小学校

昨年度より、サイズアウトした体育着を回収し、運動会前に「おゆずり会」の活動を行っています。昨年度は小さいサイズが多かったですが、本年度は卒業生からのおゆずりがあり、大きいサイズのおゆずりも出来ました。また、新入生説明会にも参加させてもらい、体育着を購入前の新一年生のご家庭にも積極的におゆずりをしています。

おゆずりの会場は、親達の意見交換の場ともなっていて、これからもこの活動を継続していけたらと思います。

母親委員長 土屋ともみ



村木沢小学校

体育着のお譲り会をおこなっています。10月の個人面談に合わせ昇降口に回収ボックスを設置し、保護者の皆さんに不要になった体育着を持ってきていただきました。集まったものは、1月に行われる新入生の保護者会と2月の学習参観の日に展示し、ご自由にお持ち帰りいただけるようにします。在校生を対象とした10月の回収のみでは小さなサイズしか集まらないため、卒業の時期にあわせ卒業生を対象とした回収もおこなう予定です。実物を手に取って自由に持ち帰りできるのは小規模校ならではの、と感じています。

母親委員長 佐藤藍



西山形小学校

今年は、子供たちに手作りの葉をプレゼントさせていただきました。

葉とは、本の読みかけのところにはさんで目印とするものです。普段から読書をする人にはもちろん、本を読む習慣のない子供たちにも、これをきっかけにたくさん本の世界に触れていってもらえたらうれしいです。興味・関心のあることに取り組み、学び続け、友達と共に成長してほしいと、願っています。

母親委員長 加藤紀代美



金井中学校

不要になった中学校の制服、体育着等を回収し、必要な方へ提供する「リサイクル会」を毎年実施しております。学区内である金井小や九小の体育着も回収し、各小学校へ提供もしました。今年度は、体育祭と地区の秋のイベントの2回、回収日を設け100点以上の回収がありました。12月6日にリサイクル会を実施し、在校生と来年度入学予定の新入生のご家庭へ95点の提供を行いました。今後も意見交換しながら、活動していきたいと思っております。

母親委員長 阿部みや子



情報交換「ワールドカフェ」開催

第1回定例母親委員会の情報交換会で出された不安や悩みなどから8つのテーマに絞り、ワールドカフェ形式での話し合いを行いました。



ワールドカフェとは? 少人数に分かれ、リラックスした雰囲気で行う話し合いのことで、テーマについて結論を導いたり課題を解決するのが目的ではなく、自由な意見や新たな発想を生み出すことを目的としています。他のテーブルとメンバーを入れ替えることにより、多くの人の考えに触れ、多様な価値観の理解につながります。

ネット・SNS

スマホを使う時のルールは?

- ・使用時間は必ず決める
- ・寝る時はスマホを使えないようにする
- ・SNSや有料サイト等の危険性を教える

心配なこと...

- ・子供が TikTok 等で動画を公開している、犯罪に巻き込まれないか心配
- ・親の知らない友達とSNSでのつながり
- ・視力の低下が心配

不登校

学校へ行きたくないと言ったら?

- ・無理して行かせるべきではない
- ・学校に行かない＝悪ではない
- ・親は不安にならず、子供を信じる
- ・学校と家庭の連携が大事
- ・スクールカウンセラーに相談

不登校になってしまう前にできることは?

- ・生活リズムを整える
- ・普段から親子のコミュニケーションが大事
- ・子供の小さな変化を見逃さない

いじめ

周囲でのいじめは?

- ・「バカ」「しね」などの言葉の暴力
- ・メッセージアプリでの嫌がらせ
- ・物を買うように強要された
- ・いじめがひどくなり、転校に追い込まれた

子供の様子の変化とは?

- ・早退しがちで、学校の事を話さなくなる
- ・イライラして表情が暗く、ため息が多い
- ・食欲不振、体調不良が続く
- ・言葉がとげとげしく、目を見て話さない
- ・ゲームに没頭するようになる

様子の変化にどう対応するか...

- ・家で安心して過ごせるようにしてあげたい
- ・親子2人だけの時間をつくる
- ・子供が話してくれるまで待つ
- ・学校やスクールカウンセラーに相談する
- ・親が一番の味方である事を伝える

保護者の学校への関わり

コロナ禍後、働き方改革が進み...

- ・行事、役員の縮小化が進み、学校での子供の様子が見えにくい
- ・先生と会う機会が減り、不安があっても先生に伝えて良いか悩む

スクールサポーター制度とは?

- ・保護者がいつでも来校し、学校生活を見守ることができる制度で、クラス全体が落ち着いたなどの効果が得られている

親と子の関わり方

反抗期の関わり方は?

- ・子供の機嫌が良い時を見極めてコミュニケーションをとる
- ・子供の考えを認めたくて、親の考えをきちんと伝える
- ・どんなことがあっても決して見捨てたりしない、愛していると伝える
- ・子供と密に関わる時間は限られているので今を大切にしたい

父と子の関わりは?

- ・父は子供にスキンシップを求めるが、子供がうっとうしく感じている
- ・息子とはスポーツ等の共通の話題があるが、娘とは話題に乏しく会話が続かない

性教育

子供への話し方は?

- ・性の話をどう切り出して良いのか分からず、何も話していない
- ・子供が自分の身を守るためにも、幼少期から段階的に話すべき
- ・出産・妊娠のタイムリミットについてもきちんと教える必要がある

要望として...

- ・学校の性教育の内容を親も知りたい
- ・最新の性教育を学べる親のための勉強会を開いてほしい

部活・スポ少

現状は?

- ・勉強との両立が大変で、帰ってくる疲れ果てへとへとになっている
- ・学校や指導する先生によって、活動・指導内容に大きな差がある

地域移行について

- ・どう変わるのか分からないので、不安しかない
- ・保護者の送迎や経済的負担が増えるのではないかと、そのことで、希望する活動が出来ない子が出てくるのではないかと
- ・学年も学区も違う子と仲良くなれる点が良い

母の息抜き

- ・母の心身の健康は家庭全体にかかわる大事なことで、家族を優先し自分は後回しにしがち
- ・少しでも一人になれる時間を持ち、心の余裕を保つことも大切
- ・忙しいながらも、ちょっとした時間でリラックスできる自分なりのストレス解消法を見つける(例...好きなドラマ・DVD鑑賞、美味しいものを食べる、仕事終わりのビール、友達とおしゃべりなど)

〜〜 ここに掲載されている以外にも様々な意見が上がりました。最後に全体で情報を共有し、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。ご参加頂きました皆様、沢山のご意見を出して下さい誠にありがとうございました。〜〜



「生徒にとって望ましい持続可能な部活動と山形市の部活動地域移行について」

今回のテーマは、昨年度に引き続いて取り上げられ、市教育委員会と市文化スポーツ部の方々、各校のPTA会長と母親委員会運営委員が江南公民館講堂に集まりました。スポーツ庁制作の「今後の学校部活動・地域クラブ活動の在り方に関するVTR」を視聴後、市部活動地域移行連携室コーディネーターの方から、山形市のモデル事業の紹介や取り組みをうかがい、その後グループ討議を行いました。各地区、競技によって状況や課題は様々で、「今後どのように移行していくのか不安感はある」「安心して継続して活動できる環境づくりが重要である」「部活動と地域クラブのどちらも選択しない生徒の居場所づくりが必要」など多数意見が出され貴重な懇談会となりました。

拡大母親委員会 「いのちの大切さ学習会」

『子どもを犯罪から守るために』～少年の非行及び被害の現状から～

講師 小林 智佳子 氏 山形県警察本部 生活安全部人身安全少年課
少年サポートセンター 調査官(少年補導担当)



山形では、どんな
事が起きているの？



SNSに起因する子どもの被害

特に小学生の被害が著しく増加していて、加害者は幅広いユーザーとのやり取りが出来るSNSを入口に様々なアプリを併用して、DMなどで1対1のやり取りへと誘い込む。加害者とつながる最初の投稿は児童側からが大半で、趣味・日常生活等、一見、犯罪につながるとは考えにくい内容が半数以上を占めている。

大麻乱用が16歳を境に急増中！！

薬物乱用防止教室を受けて悪い事だとは十分にわかっているけど、いざ目の前にそれがあつた時、好奇心に負けてしまう…。仲間内でやっていて自分だけ良い子になる事は非常に難しい。

闇バイト…実際は犯罪の実行役で捨て駒

お金欲しさから一度だけなら…と応募し個人情報を入力。特殊詐欺に加担しても報酬はもらえず、辞めたいと言えば家族に危害を加えると脅され、逮捕されるまでやめる事ができない。

～スマホ時代の子供たち～

生まれた時からネット環境が身近にあり、ネット接続時間が1日に4時間以上の子供が約3割となっている。学校の授業や宿題でタブレットを使用したり、見守り・安心の為にスマホを持たせたりと、大変便利なアイテムでもあります。

《 ネット接続が長い子の傾向 》

- ・朝食を食べない・寝るのが12時以降
- ・イライラしている・勉強に自信がない
- ・課金額が高い・面識ない人とSNS交流

どうしたら
いいの？

《 育てよう・・・ 》

自分を大切にする力・まわりを思いやる力 》

日頃から子供と向き合い、心のつながりを育むことが大事。親子の会話を通してあなたが大切だというメッセージを伝えていくこと。「あなたはどうしたいの?」「伝えてくれてありがとう!」など、子供の気持ちを尊重し、一方的に親の意見を押し付けることはしない。その会話の積み重ねできっと…何かあった時には親の顔が浮かび、心のブレーキをかけられる。子供が困ったことがあったら、親に相談できる様な環境を日頃から作っておくことが大切。

《 正しく怖がり、かしこく使う 》

- * SNSを使う目的やルールを親子で考える
- * 必ずフィルタリング機能等を使う
- * 親自身がスマホ依存にならない

《 困ったときには… 》

家庭で解決出来ない事は少年相談ダイヤルへ

☎ 023-642-1777



《 177名の方にお集まりいただきました！その中から一部、感想をご紹介します 》

- *正直どこか他人事になっていました。思っていたより深刻な状況に子供たちは置かれていると気付かされました。
- *18歳迄の短い期間に少しずつ、正しいSNSとの関わり方を一緒に考えていく事が必要だと思いました。
- *大麻のお菓子(グミ・チョコ・クッキー・アメなど)の存在に驚きました。自分の未来を大切にという言葉が心に響きました。

山形市青少年指導センター 街頭指導

山形市青少年指導センターでは青少年の健全育成・非行防止のため、市内の駅周辺や通学路を中心に日々「街頭指導」を実施しています。今回は山形駅方面の巡回コースに同行させていただきました。駅前の若者が集まる場所の見回りや帰宅途中の子供への挨拶、街中のベンチなどで座っている子供たちには相手が気構えないような温かい声掛けをしていらしやいました。街頭指導は子供の立場に寄り添った見守りであり、非行防止や子供を犯罪から遠ざける愛のある活動だと感じました。



山形市立図書館

山形県PTA連合会及び山形市PTA連合会は「親子読書」を推進しています。各学校の母親委員会としても読み聞かせの活動が多いことから、市立図書館の方より本選びや読む時のコツなどをお聞きし、各学校のPTAや家庭での親子読書活動に活かせる研修になりました。

絵本は心の冒険

読み聞かせのコツを教えてくださいました

- ・参加型形式(クイズをだしたり)
- ・読み手が心の底からその本のお話を楽しむ
- ・絵の雰囲気温かく想像が膨らむ本



駅や市役所にも



自然に本に触れる機会が設けられています

- ・「本のひろば」を山形駅や市役所などに
- ・「出前図書館」を学校などに



山形市立商業高等学校

創立106周年を迎えた山形市唯一の市立高校である山形市立商業高等学校は、令和4年に新校舎が建設され、昨年度グラウンドを含めてすべて完成し、生まれ変わりました。これからの子供たちの進路を見据えた最新の高校教育現状を視察して参りました。

山商のここがすごい



- ◇図書室が校舎の中央に位置し、通路として動線の役割を果たしていて、生徒が図書室を通って食堂へ移動したりと、学校生活の中で自然に本と触れ合えるようになっている
- ◇部活動にも力を入れており、スポーツジム並みの器具が並んだトレーニングルームや剣道場にレスリング場、全面人工芝の広いサッカー場など、それぞれの部活動に合わせた専門の施設が充実している
- ◇災害時には避難所として利用できる体育館が2カ所あり、屋外には断水時、緊急使用できるように井戸水を利用したマンホールトイレを完備している
- ◇太陽光発電や屋根からの雨水をトイレに利用するなど環境にも配慮している
- ◇学食は日替わりメニューが豊富で、ワンコインに近い値段で食べることができる



山形市PTA連合会 母親委員会の主な活動報告

活動テーマ:「いのちの尊さ大切さ」～かかわる喜び つなげる笑顔～

* 定例母親委員会(年3回)

第1回 母親委員会(5/9) 今年度の活動計画・情報交換

第2回 母親委員会(6/20) ワールドカフェ

第3回 母親委員会(2/17) 今年度の反省・情報交換

* 拡大母親委員会(11/4)

講演: 子どもを犯罪から守るために～少年の非行及び被害の現状から～

講師: 小林 智佳子 氏

* 「親学」家庭教育視察研修(11/27)

山形市立図書館と山形市立商業高等学校の視察

* 母親委員会だより 「マザーズねっとわーく」No.29 3月発行

一年間、母親委員会の活動にご理解とご協力を頂きましてありがとうございました。

(運営委員一同)

委員長	高橋 あゆみ(第一中)
副委員長	渡邊 さおり(金井中)
	渡辺 佐和子(第十小)
運営委員	滝口 亜子(第二中)
	小笠原 史子(第五中)
	山田 恵美子(蔵王第一中)
	早坂 和美(第一小)
	前田 ルミ(第十小)
	眞木 英子(鈴川小)
	高橋 妙子(金井小)
	田宮 麻衣子(蔵王第一小)
	鈴木 友香(南山形小)

山形市PTA連合会ホームページ
www.ymgcity-pta.com

